

口演，論文，著書など

外国語学部

木崎 英司

口 演

1. 「ホスピタリティマネジメント」. 日本スポーツクラブ協会マネージャー養成講習会, 国立オリンピック記念青少年総合センター, 2013年7月16日.
2. 立教大学観光ビジネスプロジェクト, 立教大学池袋キャンパス, 2013年4月~12月.

金田一 秀穂

口 演

1. 記念講演. 特別区職員研修所 新任研修, 文京シビックセンター, 2013年4月3日.
2. 「言葉を育てる」. NHK カルチャーラジオ, NHK 文化センター, 2013年4月5日.
3. (社会を明るくする運動)「言葉の選び方」. 佐倉市推進委員会, 2013年7月10日.
4. (授業づくりフォーラム)「コミュニケーションと言葉」. 広島大学附属小学校, 2013年7月27日.
5. ようこそ先輩「言葉を作る」. NHK, 放送, 2013年9月4日.
6. 「人を繋ぐ言葉」. 国際治療談話会, 学士会館, 2014年1月16日.
7. 講演. 横浜市区明るい選挙推進大会, 2014年1月27日.

著 書

1. (分担執筆) 金田一秀穂:(項)「世相語」. 『現代用語の基礎知識』.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. 放送文化基金ラジオ部門審査委員長, 2013年4月22日-25日.
2. 外国人のための日本語弁論大会 特別審査員, NHK, 小倉, 2013年6月3日.
3. 政策研究大学院大学 客員教授, 2013年6月.
4. 講師, 公開研究会「言語活動を充実させる」. 甲斐市教育委員会, 2013年11月8日.
5. 全国統一防火標語. 外部選考委員, 2014年1月17日.

楠家 重敏

口 演

1. 「イギリス外交官の日本研究(幕末~明治初年)」. 日本英学史学会, 東京家政大学, 2013年5月11日.
2. (出張講義)「幕末の英語学習」. 都立小平西高校, 2013年7月16日.
3. 「日仏修好通商条約第21条・第22条について」. 日本仏学史学会, 神宮前区民会館, 2013年10月26日.
4. 「キリスト教とフロイス」. 朝日カルチャーセンター, 横浜ルミネ, 2013年10月28日.
5. 「駐日イギリス公使館の日本語新聞英訳」. 日本英学史学会, 東京家政大学, 2013年11月2日.
6. 「鎖国とケンペル」. 朝日カルチャーセンター, 横浜ルミネ, 2013年11月11日.
7. 「シーボルトの遺産」. 朝日カルチャーセンター, 横浜ルミネ, 2013年11月25日.
8. 「幕末日本とサトウ」. 朝日カルチャーセンター, 横浜ルミネ, 2013年12月9日.

9. 「明治日本とチェンバレン」朝日カルチャーセンター, 横浜ルミネ, 2013年12月23日.

著 書

1. 楠家重敏:『日本アジア協会の研究』. 電子書籍版, 日本図書刊行会, 2013年10月13日.
2. 楠家重敏:『ネズミはまだ生きている』. 電子書籍版, 雄松堂書店, 2014年1月10日.
3. 楠家重敏:『W.G. アストン』. 電子書籍版, 雄松堂書店, 2014年1月10日.
4. 楠家重敏:『アーネスト・サトウの読書ノート』. 電子書籍版, 雄松堂書店, 2014年1月10日.

その他(メディア出演等)

1. (インタビュー記事)「遣欧使節(1)―異文化“漫録”の旅」. HP, 産経ニュース, 2014年2月22日.
2. (インタビュー記事)「遣欧使節(2)―「博物館」と団員たちの世界観」. HP, 産経ニュース, 2014年3月22日.

黒田 有子

論 文

1. 黒田有子:メルヴィルと身体的不調 ―その多文化的美学形成の前提として―. 『杏林大学研究報告―教養部門』第31巻:141頁-149頁, 2014年2月.

小山 三郎

口 演

1. (公開講演)「魯迅―その人間像について」. 工学院大学孔子学院, 2014年3月4日.

論 文

1. 小山三郎:台湾映画史年表を読む. 『中国研究論集』第13号:175頁-177頁, 霞山会, 2013年9月.
2. (資料)小山三郎:中国現代文学史年表 1949年から81年まで. 『杏林大学外国語学部紀要』第26号:141頁-223頁:2014年3月.

著 書

1. 小山三郎:『新編台湾映画 社会の変貌を告げる(台湾ニューシネマからの)30年』 晃洋書房, 2014年.

齋藤 智志

論 文

1. 齋藤智志:『根拠律』はショーペンハウアー研究を更新する. 『ショーペンハウアー研究』第18号:111頁-125頁, 2013年9月.

受賞、特許等知的財産関係、学会主催、報告書等

1. (シンポジウム司会者報告)「自然再考」報告. 『ショーペンハウアー研究』第18号:34頁-42頁, 2013年9月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (講師) 郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム(教員免許状更新講習)講師(担当領域:教員としての子ども観, 教育観等についての省察).
2. (講師) 日本大学理工学部非常勤講師(担当科目:教育の歴史).
3. (学会役員) 日本ショーペンハウアー協会理事, および協会誌編集委員.
4. (学会役員) 日本デルタイ協会理事, および協会

誌編集委員.

5. (学会役員) 実存思想協会幹事.

坂本 ロビン (Robin Sakamoto)

口 演

1. (ポスターセッション) 'Kyorin's Approach to Going Global.' JACET 第52回全国大会, 京都, 2013年8月31日.
2. 「当たり前って何だろう? ~異文化コミュニケーションの基本~」. 神奈川大学外国語学部国際文化交流学科, 神奈川大学横浜キャンパス 2013年9月6日.
3. 'A Research Agenda for the Internationalization of Higher Education in the United States, 2nd Edition.' AIEA Annual Conference, Washington DC, USA, 2014年2月16日.

論 文

1. Robin Sakamoto: Using Synergy in the Team-Taught Classroom. 『ALT ハンドブック』: 62頁-74頁, 2013年10月.

その他 (学会等および社会における主な活動)

1. Association of International Education Administrators (AIEA), 紀要編集委員.

詹 満江

論 文

1. 詹満江: 大沼枕山の蘇軾に次韻した詩について. 『杏林大学外国語学部紀要』第26号: 1頁-13頁, 2014年3月.

著 書

1. 詹満江: 『旧唐書』巻百六十柳宗元伝・『新唐書』巻百六十八柳宗元伝訳注. 『柳宗元古文注釈——説・伝・駢・弔——(新典社注釈叢書 23)』(共著) 竹田晃編. 新典社, 2014年. 401頁-422頁.

その他 (書評)

1. (書評) 谷口真由実著 『杜甫の詩的葛藤と社会意識』汲古書院より2013年2月発行, 『新しい漢字漢文教育』第57号, 全国漢文教育学会, 2013年11月.

高木 眞佐子

口 演

1. 「グローバル時代のアカデミズム—西洋中世の事例から—」. 第51回アカデミア (外国語学部公開研究会), 杏林大学八王子キャンパス, 2013年6月26日.
2. (出張講義) 「外国語学部の学び」. 追浜高等学校, 2013年6月25日
3. (出張講義) 「身体で学ぶ英語—実践編」. 横浜栄高等学校, 2013年10月21日.
4. (出張講義) 「身体で学ぶ英語—実践編」. 新潟青陵高等学校, 2013年10月23日.
5. (出張講義) 「シンデレラの物語にはなぜ魔法が出てくるのか」. 十日町高等学校, 2013年10月24日.
6. (出張講義) 「身体で学ぶ英語—実践編」. 山村学園高等学校, 2013年12月11日.
7. (出張講義) 「外国語学部の学び」. 小平西高等学校, 2013年12月19日.

論 文

1. Masako Takagi: "A Bibliographical Note on Folio 115r of BL MS Additional 10099, A Copy of the Chronicles of England." 『杏林大学紀要』第26号: 1頁-6頁, 2014年3月.

その他 (学会等および社会における主な活動)

1. (運営) 日本中世英語英文学会東支部 第29回研究発表会, 慶應義塾大学日吉キャンパス, 2013年6月15日.
2. 日本政府観光局 (JNTO) 通訳案内士口述試験試験官, 明海大学, 2013年12月8日.
3. (司会) シンポジウム「トルキンと詩の伝統」[ケルトの唄人 (うたびと) トールキン] 辺見葉子 (慶應義塾大学), 「トルキンの『アーサー王の死』と頭韻詩の伝統」伊藤盡 (信州大学), 「現代詩人トルキン」高橋勇 (慶應義塾大学), 国際アーサー王学会日本支部2013年次大会, 慶應義塾大学日吉キャンパス, 2013年12月14日.
4. 日本中世英語英文学会 研究助成セミナー委員

その他 (教育活動上特記すべき事項)

1. (プレゼン指導) 石川あずさ, 佐藤まやか, "The Japanese Ghastly Apparitions, Yokai," 第7回森田杯・英文毎日杯ペアで紹介する日本文化プレゼンコンテスト, 京都外国語大学, 2013年12月21日.
2. 秋学期「児童文学論」. 「いちよう塾」, 八王子市学園都市センター.

玉村 禎郎

口 演

1. 「表現と文化」. NHK文化講座, 2013年4月6日.
2. 「日本語と漢文」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子, 2013年4月17日~7月10日 (コーディネート・口演).
3. 「百人一首とその背景」. NHK文化講座, 2013年6月29日.
4. 「説話と京の街並み」. NHK文化講座, 2013年7月6日.
5. 「日本語と漢文」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子, 2013年10月17日~12月12日.
6. 「日本語の音声・音韻」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子公開講座, 2013年10月18日.
7. 「言語文化の視点—認識と言語—」. 龍谷大学エクステンションセンター Kyoto, 2013年11月18日.
8. 「言語文化の視点—医学と言語—」. 龍谷大学エクステンションセンター Kyoto, 2013年11月25日.
9. 「京ことばと東京ことば」. NHK文化講座, 2013年12月7日.
10. 「日英両言語の対照的研究」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子, 2013年12月19日~2月7日.
11. 「ことばの今昔」. NHK文化講座, 2013年3月29日.

論 文

1. 玉村禎郎: 文法化と認知的視点. 大阪大学国語国文学会 『語文』百輯記念号: 51頁-62頁, 2013年12月.
2. 玉村禎郎: 日本語の音韻的特徴—促音と撥音を中心

- に。『杏林大学研究報告』第31巻：131頁-140頁, 2014年2月。
3. 玉村禎郎：形容詞ウ音便-使用の位相を中心に。『杏林大学外国語学部紀要』第26号：7頁-19頁, 2014年3月。

その他（社会における主な活動）

1. 八王子地域23大学等留学生日本語弁論大会の指導, 杏林大学八王子キャンパス, 2013年11月。
2. 八王子地域23大学等留学生日本語弁論大会審査委員（主催：大学コンソーシアム八王子, 主管：八王子市学園都市推進会議, 後援：八王子市, 八王子市教育委員会）八王子市学園都市センター, 2013年11月。
3. 新村出記念財団評議員（広辞苑）

塚本 慶一

著 書

1. 塚本慶一：『中国語通訳への道（新版）』。大修館書店, 2013年。

その他（社会における主な活動）

1. 日本中国語通訳翻訳研究会会長。
2. 日本ビジネス中国語学会理事。
3. サイマル・アカデミー中国語通訳者養成コース主任講師。
4. 外務省中国語特別研修コース講師。
5. 海外職業訓練協会アドバイザー。
6. (株)ベネッセ・コーポレーション全社教育研究開発委員会委員。
7. 「全日本中国語スピーチコンテスト」審査委員長（公益社団法人）。
8. 中国「全国日本語・中国語通訳コンクール」審査委員長。

塚本 尋

口 演

1. 「日本語中国語間の通訳者・翻訳者の養成教育についての諸問題」。広東外語外貿大学, 中国・広東, 2013年5月30日。
2. (講演)「通訳者養成の手法の語学教育現場への応用—音声表現の向上をめざして—」。広東外語外貿大学, 中国・広州, 2013年5月31日。

その他（社会における主な活動）

1. 「グローバル人材育成推進事業」の活動の一環として、海外学術協定校である中国・広州の広東外語外貿大学を訪問。先方大学から本学（杏林大学）に留学を予定している学生との面談と指導を実施。2013年5月30日-6月2日。
2. (試験官)中国への公費留学生選抜試験の最終面接, 公益社団法人日中友好協会, 2014年3月9日。

出嶋 靖志

口 演

1. 「女性の癌による死亡率と、出産回数および授乳期間との関連」。第78回日本民族衛生学会総会, 佐賀, 2013年11月16日。

2. 「出生性比と食料供給状況との関連」。第78回日本民族衛生学会総会, 佐賀, 2013年11月16日。
3. 「観光開発が住民の生活環境と健康に及ぼす影響—インドネシア Kampung Dukuh 現地調査による検討—」。第78回日本民族衛生学会総会, 佐賀, 2013年11月16日。

著 書

1. 出嶋靖志：「環境と健康」。『衛生学・公衆衛生学第2版第9刷』。東洋療法学校協会編, 医歯薬出版, 2013年。71頁-128頁。
2. 出嶋靖志：「消毒法」。『衛生学・公衆衛生学第2版第9刷』。東洋療法学校協会編, 医歯薬出版, 2013年。201頁-216頁。

その他（教育内容・方法の工夫）

1. 観光教育における保健理論的基盤：健康科学, 食と健康のエコロジー, 観光保健論, 福祉観光論, サービス衛生論, 旅行医学概論の各授業における, 環境・保健・生態学的視点の導入。
2. 文系学生にもできる実験室操作を導入し, 観光における健康科学の理解を深める試み。

その他（学会等および社会における主な活動）

1. 日本衛生学会評議員。
2. 日本民族衛生学会評議員。

遠山 菊夫

その他（教育内容・方法の工夫）

1. 「異文化の集い〜シャーロックホームズの冒険」（地域社会の国際化を目標として地元企業と提携し、外国人ゲストスピーカーを招聘し出身国について一般来場者に講演していただく国際交流イベント）第10回「スリランカ」。2013年4月27日。
第11回（一周年記念特別企画）「5人のゲストスピーカー達が語りつくす What's 日本?!」。2013年5月26日。
第12回「韓国」。2013年7月20日。
第13回「パキスタン」。2013年9月19日。
第14回「コートジボワール」。2013年12月1日。
第15回「マカオ（澳門）」。2014年3月8日。

長谷川 弘子

論 文

1. 長谷川弘子：ベッティ・ネ・フォン・アルニム『ゲーテとある子供との往復書簡』—書簡体小説の特徴及び伝記的背景—。『杏林大学研究報告—教養部門』第31巻：151頁-161頁, 2014年2月。

柳田 義男

著 書

1. 柳田義男：第6章「交通産業経営」6.1 鉄道事業。『観光経営学』。岡本伸之編著。東京, 朝倉書店, 2013年。64頁-69頁。

その他（メディア出演等）

1. 「潜入！TREND SPOT：東京ステーションホテル」。識者コメント 『日経トレンディ』3月号。東京。

株式会社日経 BP.

荒川 みどり

口 演

1. (講義とワークショップ)「会話場面と機能1」. 市民講座 八王子国際協会日本語ボランティアステップアップ講座, 八王子, 2013年10月26日.
2. (講義とワークショップ)「会話場面と機能2」. 市民講座 八王子国際協会日本語ボランティアステップアップ講座, 八王子, 2013年11月2日.

その他 (教育内容・方法の工夫)

1. 実技実演を重視した授業の構築. 「日本語教育実習」・「日本語学演習」の科目内において. (日本語教師養成プログラムの完成段階) 受講する学生の知識経験ベースが必ずしも均質でないため, 複数の専門科目の中で内容をリンク, 相互のギャップを補う一方, 演習クラスで受講時のレディネスの不均質さが活きるように, グループワークの中でピア学習の要素を増やした.

嵐 洋子

口 演

1. (講師)「日本語の音声 I、II」. 現職教員特別参加制度 (日系) 技術補完研修 (全2回), 海外日系人協会, 2013年6月.
2. (共同発表)「地域社会により順応するための方言教材」の開発—教材開発のプロセスとロールプレイ談話の結果を中心に—. 日本語教育方法研究会41回研究会, 立命館アジア太平洋大学, 2013年9月6日.
3. (共同発表)「音声教育や日本語教員養成における音声学について日本語教師が考えていること—現状と課題を探るためのパイロット・スタディー—. 日本語教育方法研究会第41回研究会, 立命館アジア太平洋大学, 2013年9月6日.
4. (講師)「口頭表現と音声1~3」. 日系継承教育研修教師育成 II (全3回) (海外日系人協会主催), 2014年1月~2月.

その他 (作成した教科書、教材、参考書)

1. 熊本方言 web 教材「調べてみらんね なんさん! 熊本弁」(一般公開は2014年夏予定)

その他 (教育活動上特記すべき事項)

1. クライストチャーチ工科大学 (ニュージーランド) 訪問, 2013年8月30日—9月4日.
2. テキサス A&M 大学 (アメリカ) 訪問, 2014年3月6日—3月10日.

岩本 和良

口 演

1. (ポスターセッション) “Kyorin’s Approach to Going Global.” (共同研究: スノードンポール, 坂本 ロビン, 倉林 秀男, 岩本 和良) JACET 第52回全国大会, 京都, 2013年8月31日.
2. (出張講義)「大学で学ぶ英語」. 正則高等学校, 東京, 2013年11月19日.

3. Paragraphing and Paraphoning as Part of the Semogenic Power: A Multi-Dimensional Approach Based on Systemic Functional Linguistics. 杏林大学外国語学部第53回アカデミア, 八王子, 2013年11月20日.

博士論文

1. Kazuyoshi Iwamoto: Paragraphing and Paraphoning as Part of the Semogenic Power: A Multi-Dimensional Approach Based on Systemic Functional Linguistics. Ph.D. Dissertation accepted by York University, Toronto, Canada, 2013.9.

宇佐美 貴浩

論 文

1. 宇佐美貴浩: 「食をめぐるマーケティング戦略とCSR—サステイナブルな企業となるために必要な視点について—」. 『杏林大学外国語学部紀要』第26号: 21頁—38頁, 2014年3月.

その他 (社会における主な活動)

1. (企画・運営) 「“歩いて実感”三浦半島プロジェクト—Yokosuka 海道ウォーカー—」, 神奈川県横須賀市

倉林 秀男

口 演

1. 「表現にこだわって “A Simple Enquiry” を読んでみる」. 日本ヘミングウェイ協会ワークショップ, 東北大学, 2013年5月25日.
2. (ポスターセッション) “Kyorin’s Approach to Going Global.” (共同研究: スノードンポール, 坂本 ロビン, 倉林 秀男, 岩本 和良) JACET 第52回全国大会, 京都, 2013年8月31日.
3. 「アメリカ文学と精読」. 日本アメリカ文学会第52回全国大会ワークショップ, 日本アメリカ文学会第52回全国大会, 明治学院大学, 2013年10月13日.
4. 「it と that に隠蔽された意味とは?—“The Sea Change” と “Hills Like White Elephants” の解釈を巡って—. 日本ヘミングウェイ協会第24回全国大会ワークショップインプログレス, 内田洋行東京ユビキタス協創広場 CANVAS, 2013年12月21日.

論 文

1. (共著) 倉林秀男・海谷千波: コミュニケーションを通じた英語の学習指導—教員養成・研修の視点から—. 『杏林大学研究報告教養部門』第31巻: 83—94頁, 2013年3月.

その他 (社会における主な活動)

1. 日本文体論学会 (運営委員).
2. テキスト研究学会 (事務局, 編集委員).
3. 日本ヘミングウェイ協会 (運営委員).
4. 日本 F.スコット・フィッツジェラルド協会 (事務局).

千野 万里子

口 演

1. 「近世中国語の進行・持続表現について—《红楼梦》《儒林外史》を資料として—. 日本中国語学会第

63回全国大会, 府中, 2013年10月27日.

論文

1. 千野万里子: 現代中国語に見られる近世中国語の影響 (5) — 同義並列語を中心に—. 『杏林大学外国語学部紀要』第26号: 39頁-59頁, 2014年3月.

鄭 英淑

口演

1. (講演) 「日中韓における漢字の使用状況」. 八王子市学園都市大学 (大学コンソーシアム八王子), 2013年12月12日.
2. (研究発表) 「観光ということばをめぐって」. 漢字文化圏研究会, 中国天津外国語大学, 2014年3月23日.

論文

1. 鄭英淑: Architecture の訳語をめぐって. 『日本近代学研究』第42輯: 7頁-26頁, 韓国日本近代学会, 2013年11月.

野口 洋平

口演

1. (ワークショップ話題提供) 「ゼミナール教育と学外活動の相乗効果」. 日本観光ホスピタリティ教育学会第13回全国大会, 中村学園大学, 2014年3月2日.

論文

1. 野口洋平: 日本のパッケージツアーの構造と商品特性-製品アーキテクチャ論からの分析-. 『日本国際観光学会論文集』第21号: 137頁-144頁, 2014年3月.

著書

1. 野口洋平: 「旅行産業経営-旅行業の近未来」. 『観光経営学』岡本伸之編著 (共著) 朝倉書店, 2013年10月, 77頁-90頁.

その他 (メディア出演等)

1. (エッセイ) 「時評: 観光施設としての SA・PA とサービス品質」. 『高速道路と自動車』2013年10月号. 公益財団法人 高速道路調査会, 17頁, 2013年10月.
2. (書評) 「古川一郎編著 地域活性化のマーケティング」. 『観光ホスピタリティ教育』第7号 (日本観光ホスピタリティ教育学会), 39頁-41頁, 2014年3月.

古本 泰之

口演

1. (講演) 「三鷹の魅力に形にしようシリーズ: 一人ひとりが親善大使-観光と異文化理解-」. 三鷹・まちづくり人財養成塾, 東京, 2014年9月12日.
2. 「杏林大学の地域交流活動の現状と今後の展開」. 第1回杏林大学・地の拠点事業 CCRC フォーラム, 東京, 2014年11月2日.
3. 「地域を支える観光ホスピタリティ人材とは」. 日本観光ホスピタリティ教育学会第13回全国大会, 福岡, 2014年3月1日.

論文

1. 古本泰之: 観光地域における「芸術活動」の観光資源化としての美術館集積-静岡県伊豆高原地域・長野県安曇野地域を事例として-. 『日本国際観光学

会論文集』第21号: 71頁-76頁, 2014年3月.

著書

1. 古本泰之: 「博物館と美術館」. 『よくわかる観光学1 観光経営学』, 朝倉書店, 2013年, 114頁-125頁.

その他 (学会等および社会における主な活動)

1. 大学コンソーシアム八王子産学公連携事業部会長.
2. 大学コンソーシアム八王子大学等連携事業地域貢献ワーキンググループ 座長.
3. 大学コンソーシアム八王子 「八王子がわかる事典」編集委員.
4. 八王子市 「伝統文化ふれあい事業」実行委員.
5. 道の駅八王子滝山運営委員.
6. (雑誌記事) 「芸術による観光振興・観光地における美術館の集積」, WEB 観光政策フォーラム, 平成26年2月17日号.

張 弘 (宮首 弘子)

口演

1. (出張講義) 「中国語っておもしろい?」. 東京都都立上水高等学校, 2013年10月24日.
2. (出張講義) 「中国語圏で活躍するグローバル人材を目指しましょう」. 埼玉県所沢西高等学校, 2013年11月7日.
3. (研究発表) 「通訳者の主体性と訳の等価性の関係について - 最適な訳出を目指して -」. 杏林大学国際協力研究科, 2014年1月22日.

論文

1. 張弘: 通訳者の主体性と通訳の等価性 - 日中通訳者養成の観点から -. 『杏林大学外国語学部紀要』第26号: 61頁-84頁, 2014年3月.

その他 (メディア出演等)

1. (校正) 「弱点克服 中国語達人への道」. 『テレビで中国語』NHK テレビテキスト2013年10月号, NHK出版, 2013年9月.
2. (講義) 「中文エクササイズとスピーチの中訳演習」 外務省, 2014年1月29日.
3. (講義) 「中文エクササイズとインタビューの中訳演習①」 外務省, 2014年2月5日.
4. (講義) 「中文エクササイズとインタビューの中訳演習②」 外務省, 2014年2月12日.
5. (通訳) 『中国教職員招聘プログラム』. 財団法人ユネスコ・アジア文化センター, 2013年11月.
6. (通訳) 『中国教職員招聘プログラム』. 財団法人ユネスコ・アジア文化センター, 2013年12月.

イアン・ランバート (Iain Lambert)

口演

1. "World Englishes in the Classroom: Designing and Implementing a One-Semester University Course," 5th NEAR Conference, Niigata University, Japan, 2013年5月25日.
2. "Identity and the Native Speaker Model," Changing English: Contacts and Variation Conference, University of Helsinki, Finland, 2013年6月11日.

3. "Beautiful grammar?: Non-Standard English in the Japanese Classroom," PALA 2013, University of Heidelberg, Germany, 2013年8月1日.
4. "I want to speak English like ...": Japanese Learners' Beliefs about English," 11th Asia TEFL International Conference, Ateneo de Manila University, The Philippines, 2013年10月27日.
5. "Japanese Learner Creativity and Non-Standard Forms in Literature," 5th Liberlit Conference, Meiji Gakuen Daigaku, Tokyo, 2014年2月10日.

井手 拓郎

論文

1. 井手拓郎：大学におけるキャリア教育は何を指すのか—教育目標の構成—。『杏林大学外国語学部紀要』第26号：85頁-97頁，2014年3月。

北村 一真

論文

1. Kazuma Kitamura: "How Much is a Whale NOT a Fish, Literally? —A Descriptive Analysis of the Whale Construction in English." 『杏林大学外国語学部紀要』第26号：99頁-124頁，2014年3月。

著書

1. (翻訳) 北村一真：「第6章 句と文」「第7章 単語とコロケーション」。『世界の英語と社会言語学—多様な英語でコミュニケーションする』。井上逸兵他訳，東京。慶應義塾大学出版会，2013年。

八木橋 宏勇

口演

1. 「日英語の対照研究—表現編」。いちよう塾「日英両言語の対照的研究」，八王子，2014年1月9日。
2. 「日英語の対照研究—文法編」。いちよう塾「日英両言語の対照的研究」，八王子，2014年1月23日。
3. 「ことわざの定型性と創造性」。日本ことわざ学会3月例会，東京，2014年3月23日。

著書

1. (翻訳) 八木橋宏勇：「ことばの相互行為と識別的理解」(第1部)「協調としての相互行為」(第1章)「文化のコンテキスト」(第2章)。『世界の英語と社会言語学—多様な英語でコミュニケーションする』。井上逸兵他訳。東京。慶應義塾大学出版会，2013年。21頁-56頁。

その他(メディア出演等)

1. (インタビュー)「異文化交流とコミュニケーション」。東京都国際交流委員会公式サイト内ニュースレター「れすばす」(『クローズアップ』コーナー)。東京都国際交流委員会。
2. (記事)「東日本大震災時、患者の方言、医師はどのように理解」。朝日新聞デジタル。2013年7月4日。朝日新聞社。

その他(作成した教科書、教材、参考書)

1. (教材)『日本の童話』(ブラジル人コミュニティにおける児童の母語保持活動用多言語教材)。地球こ

とば村—世界言語博物館・東京女子大学松尾慎研究室共同制作，メディア出版。

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (書評)「今月の一冊! 鈴木孝夫『ことばと文化』」。『地球ことば村メールマガジン』地球ことば村—世界言語博物館。2013年6月号。
2. (企画・運営)「世界共通語はなぜ不可能か—バベルの塔と『中間世界』としての文化」(鈴木孝夫特別講演会)。慶應言語教育研究フォーラム・地球ことば村—世界言語博物館共催。慶應義塾大学三田キャンパス。2013年6月15日。
3. (運営)「認知言語学セミナー」。日本認知言語学会主催。京都外国語大学。2013年9月20日。
4. (運営)「日本認知言語学会第14回全国大会」。京都外国語大学。2013年9月21日—22日。
5. (企画・広報)「ことわざと現代社会—今なぜことわざか?」。日本ことわざ学会・地球ことば村—世界言語博物館共催。慶應義塾大学三田キャンパス。2013年11月16日。
6. (企画)「方言のチカラ」(篠崎晃一東京女子大学教授ほか)。地球ことば村—世界言語博物館・めぐろボランティア・区民活動センター共催講座。目黒青少年プラザ。2014年1月11日。

その他(団体役員)

1. 日本認知言語学会(事務局代表・理事・国際認知言語学会担当・言語系学会連合担当)。
2. 社会言語科学会(広報委員会委員・言語系学会連合担当)。
3. 日本文体論学会(運営委員・学会誌編集担当)。
4. NPO 法人地球ことば村—世界言語博物館(運営委員・企画検討委員会委員長)。
5. 「言語と人間」研究会(役員)。
6. 日本政府観光局(JNTO)(外部委員)。

赤嶺 恵理

著書

1. 赤嶺恵理：「性産業に巻き込まれる子どもたち」。『子ども白書2013』。増山均編著，本の泉社，2013年。59頁-63頁。

藤田 由香利

論文

1. 藤田由香利：通訳翻訳訓練法の活用性としての一考察—SLA 研究における学習ストラテジーとの比較—。『杏林大学外国語学部紀要』第26号：125頁-139頁，2014年3月。

その他(教育活動上特記すべき事項)

1. (審査)「第九回・中国人の日本語作文コンクール受賞作品集二次審査」。日本橋報社，2013年9月。